

第18回 熊本空襲を語り継ぐ集い

～空襲の記憶を次世代～

◆日時:2026年7月1日(水) 13:30～15:50

◆会場:中央公民館 (6F) 大会議室3 熊本市中央区草葉町5番1号

*資料代:500円 ※開場:13時

TEL:096-353-0151

13:30 開会 戦災被害者への黙祷
主催者挨拶

13:40 講話 高谷和生 「1944年3月18日“三菱熊本航空機製作所への空襲”は何だったのか! 熊本に何をもたらしたのか!」

1945年3月・5月・8月と続く、健軍飛行場と三菱重工業熊本航空機製作所の空襲は、長射程ミサイル防衛に関わる健軍の街に「何を今に伝えるのか」を、紐解きます。

14:10 証言会 寺本 至孝さん (89歳)

8歳の少年が見た「7月1日の第一回熊本大空襲」証言と紙芝居上映

昭和20年、当時本荘国民学校三年生8歳の「てらもとよしたか」少年は、7月1日の夜、街を焼き尽くす大空襲を体験しました。爆撃機B29の轟音、降り注ぐ大小焼夷弾の爆発音、家屋が燃えあがる炎のなか、防空壕から飛び出し、街中に母親や兄弟とともに乳母車を押して、火の粉を払い逃げまわりました。

敗戦後、ひもじいおもいを重ね、何もかも不足したなかで、学校教員となり、いまは「平和の尊さ」を継承する活動を行っています。この体験を綴った紙芝居を作り、多く子ども達への「語り継ぐ活動」への思いを語っていただきます。



15:00 休息

15:15 報告 「熊本空襲 記憶の継承プロジェクト III」 高谷和生



*「旧商工学校への空襲」カラー写真

□完成した「熊本空襲カラー全9枚写真

～ストーリー紹介と米軍空襲記録報告～

熊本で初めて「生成AIと証言」等を活用し、米陸軍極東航空軍が撮影した昭和20年8月10日の第二回熊本大空襲での白黒写真の「カラー化色づけ写真」が完成しました。

当時の「記憶を解凍」し、最新の米軍資料と併せ、記録として「次代への継承」となる取り組みの総括報告です。

15:50 閉会

*「熊本空襲記念碑」見学会(会場より徒歩5分) *自由参加 *豪雨時中止

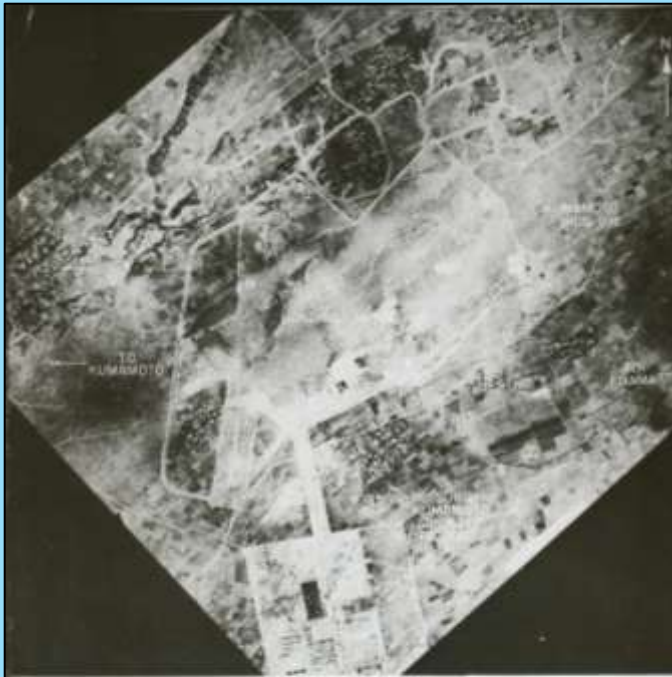
= みなさんの参加をよろしくお願いたします =

・連絡先:高山賢輔

TEL:090-9074-2573

・メールアドレス:takayama544@nifty.com

主催:平和憲法を活かす熊本県民の会



KUMAMOTO HLG U/C

COMBATANT: 50-45, 131-48
 DATE: 20 May 1945
 TIME: 10:00
 OBSERVER: [REDACTED]
 OBSERVATION: 20 miles East of KUMAMOTO, 3 miles West-Northwest of KUMAMOTO.
 DESCRIPTION: Runway - Irregular Field, 4000' x 8000', Runway:
 1. 4000' x 2000', 400/100, surfaced
 2. 4000' x 2000', 400/100, unsurfaced
 3. 4000' x 2000', 400/100, unsurfaced

AMPHIBIAN IN KYUSHU CINCPAC CINCPAC BULLETIN 106-45 15 AUGUST 1945 CONFIDENTIAL 30



□左上：「KUMAMOTO HLG U/C」健軍飛行場への米海軍第 58.3 任務群所属の空母ランドルフによる空襲報告 国立国会図書館蔵

□右上：1945 年 5 月 13 日米空母艦載機からのガンカメラの白黒写真。画面下は健軍飛行場南側と健軍川。中央は工場から飛行場への大誘導路と新外集落。左上は熊本航空機製作所 高谷蔵

□下：同年 5 月 14 日のランドルフ艦載機によるガンカメラのカラー映像。板金工場への 1,000 ポンド通常爆弾炸裂に伴うせん光状況 くまもと戦跡ネット『健軍飛行場』より

